

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
日本事情 I		日本語学科1.5年/1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	20回	0単位(20時間)	必須	田中 敦子

授業の概要

本科目では、日本で生活する上で必要となるルールや習慣について、動画やイラスト、読み物を使いながら、理解を深める。

授業終了時の到達目標

留学生活において、戸惑うことなく生活できるよう、基本的なルールや習慣について身に付ける。

回	テーマ	内容
1	高松について1	周辺施設の利用方法
2	高松について2	住所を覚える
3	日本の家に住む1	寮の使用方法 騒音について
4	日本の家に住む2	ゴミの収集方法
5	日本での生活について1	日本での滞在や在留カードについて
6	日本での生活について2	日本の法律について
7	自転車の乗り方	自転車の乗り方
8	日本語の学習について1	学校でのルール
9	日本語の学習について2	卒業後の進路
10	国民健康保険1	加入について
11	国民健康保険2	保険料助成申し込みについて
12	アルバイト1	資格外活動許可について
13	アルバイト2	履歴書の書き方
14	アルバイト3	アルバイト先で使う日本語
15	銀行1	口座の開設

回	テ ー マ	内 容		
16	銀行 2	A T Mの使い方		
17	郵便局	手紙や荷物の送り方 不在連絡票		
18	レストラン	注文と支払い		
19	乗り物の乗り方 1	電車		
20	乗り物の乗り方 2	バス		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『話そう考えよう初級日本事情』（スリー エーネットワーク）など		日本事情	100.0%	わからない言葉は 家で調べておくこ と。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
読解 I		日本語学科1.5年/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	20回	0単位(40時間)	必須	田中 敦子

授業の概要

本科目では、基本的な初級文型の学習に合わせ、既習した文型を用いた文を読んで理解する。また、初級レベルの語彙や文型で書かれた文学作品に触れる。

授業終了時の到達目標

財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N4合格をめざす。

回	テーマ	内容
1	名詞文	『みんなの日本語』 1課～3課を中心とした読解
2	動詞文(ます形)	『みんなの日本語』 4課～7課を中心とした読解
3	形容詞文 理由「から」	『みんなの日本語』 8課～9課を中心とした読解
4	存在文・所在文 助数詞	『みんなの日本語』 10課～11課を中心とした読解
5	過去時制 比較文 「たいへん」「ほしーい」	『みんなの日本語』 12課～13課を中心とした読解
6	動詞文(て形)	『みんなの日本語』 14課～16課を中心とした読解
7	動詞文(ない形)	『みんなの日本語』 17課を中心とした読解
8	動詞文(辞書形)	『みんなの日本語』 18課を中心とした読解
9	動詞文(た形)	『みんなの日本語』 19課を中心とした読解
10	動詞文(普通形)	『みんなの日本語』 20課～22課を中心とした読解
11	文の接続 1	『みんなの日本語』 23課～25課を中心とした読解
12	形式名詞「のだ」 動詞文(可能形・可能動詞)	『みんなの日本語』 26課～28課を中心とした読解
13	自動詞・他動詞	『みんなの日本語』 29課～30課を中心とした読解
14	動詞文(意向形) 推量表現	『みんなの日本語』 31課～32課を中心とした読解
15	動詞文(命令形・禁止形) 文の接続 2	『みんなの日本語』 33課～35課を中心とした読解

回	テ ー マ	内 容		
16	目標 動詞文（受身形） 形式名詞「の」	『みんなの日本語』 36課～38課を中心とした読解		
17	文の接続3 授受	『みんなの日本語』 39課～41課を中心とした読解		
18	目的 様態 接続	『みんなの日本語』 42課～45課を中心とした読解		
19	伝聞 動詞文（使役形・使役受身形）	『みんなの日本語』 46課～48課を中心とした読解		
20	敬語	『みんなの日本語』 49課～50課を中心とした読解		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『みんなの日本語 初級で読めるトピック 25』（スリーエーネットワーク）		読解	100.0%	わからない言葉は 家で調べておくこ と。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
文章表現 I		日本語学科1.5年/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	20回	0単位(40時間)	必須	田中 敦子

授業の概要

本科目では、日本語の基本的な文型を用いて、短文を作ったり、トピックに合わせて、モデル文を見ながら自分のことについて記述できる能力を養成する。

授業終了時の到達目標

日本語の基本文型や語彙を用いて、自分のことについて記述できるようになる。

回	テーマ	内容
1	名詞文	『みんなの日本語』 1課～3課を中心とした表記・作文 テーマ「自己紹介」
2	動詞文(ます形)	『みんなの日本語』 4課～7課を中心とした表記・作文
3	形容詞文 理由「から」	『みんなの日本語』 8課～9課を中心とした表記・作文
4	存在文・所在文 助数詞	『みんなの日本語』 10課～11課を中心とした表記・作文 テーマ「私の部屋」
5	過去時制 比較文 「たい」・「ほしい」	『みんなの日本語』 12課～13課を中心とした表記・作文 テーマ「私の国・町」
6	動詞文(て形)	『みんなの日本語』 14課～16課を中心とした表記・作文 テーマ「私の家族」
7	動詞文(ない形)	『みんなの日本語』 17課を中心とした表記・作文
8	動詞文(辞書形)	『みんなの日本語』 18課を中心とした表記・作文
9	動詞文(た形)	『みんなの日本語』 19課を中心とした表記・作文
10	動詞文(普通形)	『みんなの日本語』 20課～22課を中心とした表記・作文
11	文の接続 1	『みんなの日本語』 23課～25課を中心とした表記・作文 テーマ「プレゼント」
12	形式名詞「のだ」 動詞文(可能形・可能動詞)	『みんなの日本語』 26課～28課を中心とした表記・作文
13	自動詞・他動詞	『みんなの日本語』 29課～30課を中心とした表記・作文
14	動詞文(意向形) 推量表現	『みんなの日本語』 31課～32課を中心とした表記・作文 テーマ「もし私が二人いたら」
15	動詞文(命令形・禁止形) 文の接続 2	『みんなの日本語』 33課～35課を中心とした表記・作文 テーマ「趣味」

回	テ ー マ	内 容		
16	目標 動詞文（受身形） 形式名詞「の」	『みんなの日本語』 36課～38課を中心とした表記・作文		
17	文の接続3 授受	『みんなの日本語』 39課～41課を中心とした表記・作文 テーマ「日本でびっくりしたこと」		
18	目的 様態 逆接	『みんなの日本語』 42課～45課を中心とした表記・作文		
19	伝聞 動詞文（使役形・使役受身形）	『みんなの日本語』 46課～48課を中心とした表記・作文 テーマ「隣の人にひとこと」		
20	敬語	『みんなの日本語』 49課～50課を中心とした表記・作文		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『みんなの日本語 文型練習帳』（スリー エーネットワーク） 『みんなの日本語 やさしい作文』（ス リーエーネットワーク）		文章表現	100.0%	わからない言葉は 家で調べておくこ と。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
口頭表現 I		日本語学科1.5年/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	20回	0単位(60時間)	必須	安藤 清香
授業の概要				
<p>本科目では、日本語の単音の発音や単語のアクセント、短文のイントネーションなど口頭技能の基本的なスキルに加え、日常生活の中で出会う場面を中心とした会話能力を養成する。</p>				
授業終了時の到達目標				
日本語の基本文型を用いて、日常生活でよく出会う場面のやりとりができるようになる。				
回	テーマ	内容		
1	名詞文	『みんなの日本語』 1課～3課を中心とした会話		
2	動詞文(ます形)	『みんなの日本語』 4課～7課を中心とした会話		
3	形容詞文 理由「から」	『みんなの日本語』 8課～9課を中心とした会話		
4	存在文・所在文 助数詞	『みんなの日本語』 10課～11課を中心とした会話		
5	過去時制 比較文 「たい」・「ほしい」	『みんなの日本語』 12課～13課を中心とした会話		
6	動詞文(て形)	『みんなの日本語』 14課～16課を中心とした会話		
7	動詞文(ない形)	『みんなの日本語』 17課を中心とした会話		
8	動詞文(辞書形)	『みんなの日本語』 18課を中心とした会話		
9	動詞文(た形)	『みんなの日本語』 19課を中心とした会話		
10	動詞文(普通形)	『みんなの日本語』 20課～22課を中心とした会話		
11	文の接続 1	『みんなの日本語』 23課～25課を中心とした会話		
12	形式名詞「のだ」 動詞文(可能形・可能動詞)	『みんなの日本語』 26課～28課を中心とした会話		
13	自動詞・他動詞	『みんなの日本語』 29課～30課を中心とした会話		
14	動詞文(意向形) 推量表現	『みんなの日本語』 31課～32課を中心とした会話		
15	動詞文(命令形・禁止形) 文の接続 2	『みんなの日本語』 33課～35課を中心とした会話		

回	テ ー マ	内 容		
16	目標 動詞文（受身形） 形式名詞「の」	『みんなの日本語』 36課～38課を中心とした会話		
17	文の接続3 授受	『みんなの日本語』 39課～41課を中心とした会話		
18	目的 様態 逆接	『みんなの日本語』 42課～45課を中心とした会話		
19	伝聞 動詞文（使役形・使役受身形）	『みんなの日本語』 46課～48課を中心とした会話		
20	敬語	『みんなの日本語』 49課～50課を中心とした会話		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『みんなの日本語Ⅰ』（スリーエーネットワーク） 『みんなの日本語Ⅱ』（スリーエーネットワーク）『にほんごおしゃべりのたね』（スリーエーネットワーク）		口頭表現	100.0%	わからない言葉は家で調べておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
文字語彙 I		日本語学科1.5年/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	20回	0単位(80時間)	必須	安藤 清香

授業の概要

本科目では、ひらがな、カタカナ、基礎的な漢字約300字を学習する。また、基本文型の学習に合わせ、日常会話で使用頻度の高い語彙約1500語を習得する。

授業終了時の到達目標

ひらがな、カタカナに加え、基礎的な漢字約300字の読み書きができるようになる。
財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N4合格をめざす。

回	テーマ	内容
1	ひらがな・カタカナ	ひらがな・カタカナ
2	名詞文 動詞文(ます形)	『みんなの日本語』1課～7課を中心とした語彙・漢字
3	形容詞文 理由「から」	『みんなの日本語』8課～9課を中心とした語彙・漢字
4	存在文・所在文 助数詞	『みんなの日本語』10課～11課を中心とした語彙・漢字
5	過去時制 比較文 「たい」・「ほしい」	『みんなの日本語』12課～13課を中心とした語彙・漢字
6	動詞文(て形)	『みんなの日本語』14課～16課を中心とした語彙・漢字
7	動詞文(ない形)	『みんなの日本語』17課を中心とした語彙・漢字
8	動詞文(辞書形)	『みんなの日本語』18課を中心とした語彙・漢字
9	動詞文(た形)	『みんなの日本語』19課を中心とした語彙・漢字
10	動詞文(普通形)	『みんなの日本語』20課～22課を中心とした語彙・漢字
11	文の接続1	『みんなの日本語』23課～25課を中心とした語彙・漢字
12	形式名詞「のだ」 動詞文(可能形・可能動詞)	『みんなの日本語』26課～28課を中心とした語彙・漢字
13	自動詞・他動詞	『みんなの日本語』29課～30課を中心とした語彙・漢字
14	動詞文(意向形) 推量表現	『みんなの日本語』31課～32課を中心とした語彙・漢字
15	動詞文(命令形・禁止形) 文の接続2	『みんなの日本語』33課～35課を中心とした語彙・漢字

回	テーマ	内 容		
16	目標 動詞文（受身形） 形式名詞「の」	『みんなの日本語』 36課～38課を中心とした語彙・漢字		
17	文の接続3 授受	『みんなの日本語』 39課～41課を中心とした語彙・漢字		
18	目的 様態 逆接	『みんなの日本語』 42課～45課を中心とした語彙・漢字		
19	伝聞 動詞文（使役形・使役受身形）	『みんなの日本語』 46課～48課を中心とした語彙・漢字		
20	敬語	『みんなの日本語』 49課～50課を中心とした語彙・漢字		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『みんなの日本語 漢字Ⅰ』（スリーエーネットワーク） 『みんなの日本語 漢字Ⅱ』（スリーエーネットワーク）		文字・語彙	100.0%	わからない言葉は家で調べておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
聴解 I		日本語学科1.5年/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	20回	0単位(80時間)	必須	安藤 清香

授業の概要

本科目では、日本語の音の聞き分け、短文の聞き取り、また教室や身の回りなど日常生活の中で出会う場面を中心とした会話の聞き取りを行い、聴解能力を養成する。

授業終了時の到達目標

日常生活でよく出会う場面で話される会話の内容や情報が聞き取れるようになる。
財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N4合格をめざす。

回	テーマ	内容
1	日本語の音	日本語の音の聞き取り
2	名詞文 動詞文(ます形)	『みんなの日本語』1課～7課を中心とした会話の聞き取り
3	形容詞文 理由「から」	『みんなの日本語』8課～9課を中心とした会話の聞き取り
4	存在文・所在文 助数詞	『みんなの日本語』10課～11課を中心とした会話の聞き取り
5	過去時制 比較文 「たい」・「ほしい」	『みんなの日本語』12課～13課を中心とした会話の聞き取り
6	動詞文(て形)	『みんなの日本語』14課～16課を中心とした会話の聞き取り
7	動詞文(ない形)	『みんなの日本語』17課を中心とした会話の聞き取り
8	動詞文(辞書形)	『みんなの日本語』18課を中心とした会話の聞き取り
9	動詞文(た形)	『みんなの日本語』19課を中心とした会話の聞き取り
10	動詞文(普通形)	『みんなの日本語』20課～22課を中心とした会話の聞き取り
11	文の接続1	『みんなの日本語』23課～25課を中心とした会話の聞き取り
12	形式名詞「のだ」 動詞文(可能形・可能動詞)	『みんなの日本語』26課～28課を中心とした会話の聞き取り
13	自動詞・他動詞	『みんなの日本語』29課～30課を中心とした会話の聞き取り
14	動詞文(意向形) 推量表現	『みんなの日本語』31課～32課を中心とした会話の聞き取り
15	動詞文(命令形・禁止形) 文の接続2	『みんなの日本語』33課～35課を中心とした会話の聞き取り

回	テ ー マ	内 容		
16	目標 動詞文（受身形） 形名各詞「の」	『みんなの日本語』 36課～38課を中心とした会話の聞き取り		
17	文の接続3 授受	『みんなの日本語』 39課～41課を中心とした会話の聞き取り		
18	目的 様態 送接	『みんなの日本語』 42課～45課を中心とした会話の聞き取り		
19	伝聞 動詞文（使役形・使役受身形）	『みんなの日本語』 46課～48課を中心とした会話の聞き取り		
20	敬語	『みんなの日本語』 49課～50課を中心とした会話の聞き取り		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『みんなの日本語 聴解タスクⅠ』（スリーエーネットワーク） 『みんなの日本語 聴解タスクⅡ』（スリーエーネットワーク）		聴解	100.0%	わからない言葉は家で調べておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
文型・文法 I		日本語学科1.5年/1年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	20回	0単位(80時間)	必須	安藤 清香

授業の概要

本科目では、日本語の基本的な構造となる文型を学び、文法の基礎を習得する。

授業終了時の到達目標

財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N4合格をめざす。

回	テーマ	内容
1	名詞文	N1はN2です。
2	動詞文(ます形)	NはAです。Vます。 Vませんか(勧誘) あげます/もらいます
3	形容詞文 理由「から」	い形容詞・な形容詞 から、～
4	存在文・所在文 助数詞	います/あります
5	過去時制 比較文 「たい」・「ほしい」	Vました・Aかったです・ANでした より・いちばん Vたい・Nがほしい
6	動詞文(て形)	Vてください(依頼) Vています(進行・状態) Vてもいいですか(許可) Vてはいけません(禁止) Vて、Vて～・Aくて、～・ANで、～
7	動詞文(ない形)	Vないてください(禁止) Vなければなりません(義務) Vなくてもいいです(許容)
8	動詞文(辞書形)	Vことができます(可能・可能性) NはVことです(形式名詞)
9	動詞文(た形)	Vたほうがいい(忠告) Vたことがある(経験) Vたり、Vたり
10	動詞文(普通形)	会話体 連体修飾 ～と思います・～と言います
11	文の接続1	「とき」「と」「たら」「ても」
12	形式名詞「のだ」 動詞文(可能形・可能動詞)	～んです Vる・られる・できる Vながら、～ ～し、～し
13	自動詞・他動詞	Vている・Vてある(結果の存続) Vておく(準備・放置・措置)・Vてしまう(残念)
14	動詞文(意向形) 推量表現	Vうと思っています・Vつもりです ～でしょう・かもしれません
15	動詞文(命令形・禁止形) 文の接続2	Vろ・Vな Vとおりに Vあとで Vないで、～ 「ば」「なら」

回	テ ー マ	内 容		
16	目標 動詞文（受身形） 形式名詞「の」	Vように Vれる・られる 「の」		
17	文の接続3 授受	Vて・Nで（理由） 「ので」 Vてくださる・Vていただく		
18	目的 様態 逆接	Vために VNそうです・そうに・そうな 「のに」		
19	伝聞 動詞文（使役形・使役受身形）	Vそうです Vせる・させる		
20	敬語	尊敬語・謙讓語・丁寧語		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『みんなの日本語Ⅰ』（スリーエーネットワーク） 『みんなの日本語Ⅱ』（スリーエーネットワーク）		文型文法	100.0%	わからない言葉は家で調べておくこと。